



医療法人
オホーツク勤労者医療協会



contents



事業所紹介



看護理念・民医連とは



看護部門紹介

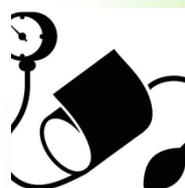
外来,病棟,地域連携相談室,訪問看護



職員教育・育成



働きやすい職場作り



高校生・看護学生のみなさんへ



奨学金制度



北見病院までのアクセス



事業所紹介

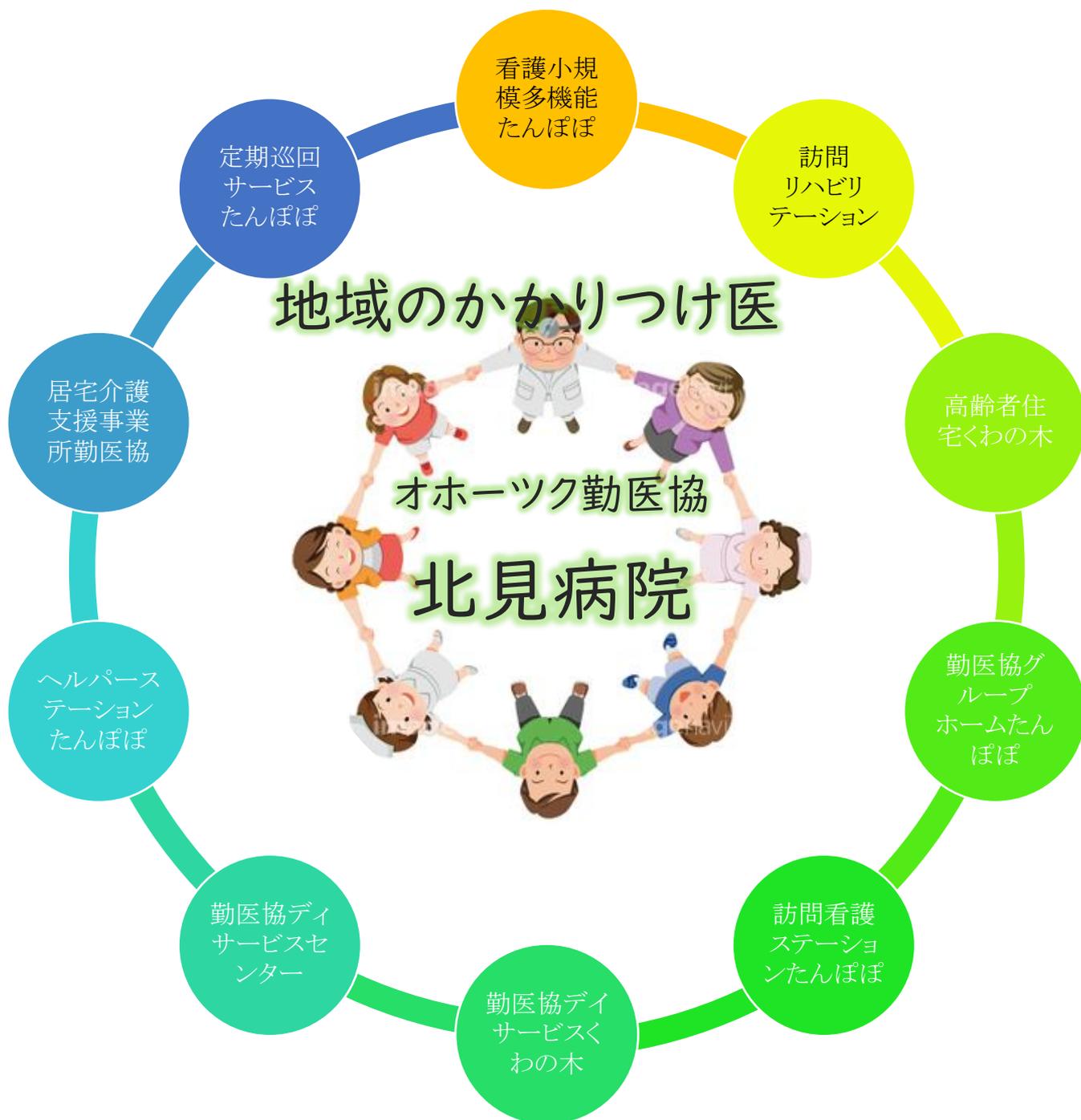


オホーツク勤労者医療協会は、医療と介護を一体で提供できるよう、病院と9つの介護事業、高齢者住宅をもつ医療法人です。

看護職員は、約50人です。北見病院の外来・病棟・地域連携相談室と、訪問看護ステーションで日々の看護実践を展開しています。

また、「誰もが安心して住み続けられるまちづくり」をスローガンに、地域のみなさんとながりをもちながら一緒に活動しているのが特徴です。

命を守ることを仕事とする医療従事者として、よい看護を提供するためには平和な世の中であることが大切です。核兵器廃絶や憲法を守る活動を続けています。



医療と介護を一体で提供し
「安心して住み続けられるまちづくり」
をめざします



看護理念

- わたしたち看護師は患者さん・利用者さんを主人公に、安全・安心の看護をめざします
- わたしたち看護師は常に学ぶ姿勢を忘れず、なんでも相談できる看護師をめざします
- わたしたち看護師は友の会・地域のみなさんといっしょに看護活動を通し、地域に貢献します
- わたしたち看護師は命が大切にされる社会をめざし努力します



オホーツク勤医協の看護師は病院、訪問看護ステーションにおいて、患者さん・利用者さんを中心とし、様々な職種と連携・協同して医療と看護を実践しています。困難をかかえていても、あきらめず心に寄り添い「人間らしく、その人らしく生きていくこと」を援助し、無差別平等の看護を実践することが私たち看護職員共通の目標です。



民医連とは（勤医協の加盟組織）

戦後、医療に恵まれない人々の要求にこたえようと、地域住民と医療従事者が手をたずさえ、民主的な医療機関が各地につくられました。全日本民主医療機関連合会(全日本民医連)は、これらの連合会として1953年に結成されました。以後、半世紀以上にわたって地域の人々に支えられ、身近な医療機関として活動しています。

民医連は、地域医療に力を入れている病院が多く「医療に格差があってはならない、いのちは皆、平等」「働く人々の医療機関」として出発し、いまでは保健予防から医療・福祉・介護・生活支援まで幅広く活動しています。医療制度を改善する運動もすすめ、「いのちは平等である」との考えから、差額ベッド料（個室料）をいただかないことや、無料低額診療など実施しています。また、地域の要求から介護・福祉分野の活動も活発に行っています。

現在、民医連に加盟する事業所は、全国の47都道府県に1750カ所を超え、約8.2万人の職員と、医療生活協同組合員や友の会会員約370万人の方々が、ともに保健・医療・福祉の総合的な活動、安心して住み続けられるまちづくり運動を進めています。



**実は、民医連は全国規模の医療・介護・福祉の組織!!
そして、長い歴史があります**



全国規模で見ると他の団体に負けないくらいの職員数!!



看護部門紹介 ～ 外来（内科）

外来には1日150人前後の患者さんが来院されます。地域で働くみなさんが受診できるように週1回“**夜間診療**”を行っています。また、病院受診が困難な患者さんが治療を継続できるよう、“**訪問診療**”も行っています。看護師の主な仕事は、医療チームの一員として患者さんのケアや、診療の補助などを行います。病気に対する医療的なケアだけでなく、患者さんやご家族の精神的な痛みや苦しみに寄り添い、支えになる心のケアも大切な役割の一つです。

**地域の
皆さんの
健康を守る**

チームで実践する外来看護

患者さんの中には困っていることを周りに相談できない方、家族が困っている方など様々なケースがあります。外来では困っていることに耳を傾け寄り添い、すぐに結論を出すのではなく外来看護師や医師で“カンファレンス”を行ったり、場合によってはケアマネジャーや医療相談員などを含めた**多職種カンファレンス**を行っています。地域のことも一緒に考え、安心した治療や生活ができるように看護を提供しています。



新卒の看護師から見た外来の職場の雰囲気はどうか？

新しい職場・初めての業務内容で日々覚えることが盛りだくさんです。困ったことやわからないことが職種問わず相談しやすい職場です。話しかけやすい人柄の職員ばかりで、職員に恵まれていることが働きやすさにつながっていると思います。



看護部門紹介 ～ 病棟

私たちが働いている病棟は、44床の地域包括ケア病棟です。

医師、看護職、介護職および看護補助者、リハビリ技士、薬剤師、栄養士、社会福祉士など様々な職種と一緒に患者さんの療養を支えています。

働くスタッフの年齢も20～60歳代と幅広く、妊娠・出産・育児をしながら働き続ける事ができる職場です。

まだまだ圧倒的に女性が多い職場ですが、男性スタッフも在籍し、みんなで協力しながら働いています。



入院患者さんの多くは高齢者です。主に、急性期の治療を終えた患者さんや、癌の終末期、認知症の患者さん、骨折後のリハビリを目的とした患者さんを受け入れています。

基本的な日常生活援助や診療の補助のほか、個別性のある看護を提供できるよう日々励んでいます。また、地域包括ケア病棟の役割である、多職種で入院前の生活に安心して戻ることができるよう支援しています。

限られた入院期間の中で患者さんの声に耳を傾け、患者さん・家族に寄り添い、意思決定を支援する看護に力を入れています。

～先輩看護師からのメッセージ～



当院の病棟には高齢の患者さんが多く入院されています。認知症や終末期を迎える患者さんも多いため、日々の関わりに難しさを感じることもありますが、患者さんから「ありがとう」の言葉を頂けたとき、笑顔を見ることができたときには、とてもこの仕事にやりがいを感じる事ができています。患者さんの人生や家族に寄り添って看護をする中で、得られるものはとても多く、看護師としてはもちろん、一人人間としても日々成長することができる職場だと思っています。（2015年卒業）



今年から働き始めた新人看護師の私ですが、毎日優しい先輩看護師の教えのもと、やりがいのある仕事をしています。時々大変な時もありますが、温かい職場、患者さんの笑顔に元気を貰いながら働いています。責任のある仕事ですが、その分新しいことを覚え、出来る事が増えると楽しさを感じます。（2021年卒業）



看護部門紹介

～地域連携相談室

住み慣れた場所での生活に
困らないよう患者さんをサポートする

☆初めて病院にかかる患者様にも安心してきてもらえるよう入院
依頼や外来受診に関する相談窓口となるよう心がけています。

☆退院支援の役割

住み慣れた場所、あるいは望む場所で、できる限りその人らしく
尊厳を持って生活できるように、患者さんや・家族の方々への「意
思決定支援」「セルフケア支援」などを行っています。退院後もそ
の人に合ったケアが継続されるように、病院の医療チームと在宅や
施設で関わる方たちの橋渡しを行っています。





看護部門紹介～訪問看護

(訪問看護ステーションたんぽぽ)

訪問看護ステーションたんぽぽは、およそ100名の方が利用しています。さらに、同じ施設内にある「通い」「訪問」「泊まり」これら3つの機能を果たす看護小規模多機能たんぽぽと連携し、看護サービスを同時に提供しています。

**幅広い
看護
サービス
を提供**



訪問看護では、小児から100歳以上と幅広い年代の方への訪問看護サービスを行なっています。

小児の研修会等に参加するなど小児看護の理解を深め、年齢や病気を限定せず看護の提供をすることが可能になるよう努めています。

利用者さんに寄り添った訪問看護を

1年に一度、アンケート調査を実施しています。

利用者さんからの声を聞くことで、私達の行っている看護を振り返り、今後の訪問看護に活かしています。

「訪問看護を何年もしていますが、アンケートを取ると新たな要望や思いが出てきます。利用者さんに寄り添うことでその時の地域の要望に応えらるとともに、私たちも成長できます。」



訪問看護 の魅力



- ・生活の場に伺うため、利用者さんの生活史に触れながら看護ができます。
- ・自宅にあるもので工夫をこらし、治療や療養にうまくつながったときのやりがいが大きいです。
- ・終末期の看取りを行っています。揺れ動く本人や家族の思いに寄り添い続けながら「最期まで住み慣れた場所で」「その人らしく生きる」サポートをしています。



職員教育・育成

- 目標育成面接と連動したクリニカルラダーをもとに、看護職員の育成を支援しています。
- プリセプターシップ体制を導入しています。

新卒
離職率
0%!

*プリセプターシップ体制とは・・・

一人の先輩看護師がある一定の期間、一人の新人看護師に対して、マンツーマンで臨床実践を指導する方法です。新人看護師の看護実践能力の獲得を支援する教育体制のことをいいます。

- クリニカルラダー I～II、中堅看護職員対象の研修制度を実施し、法人外の研修会にも参加しています。

また、看護研究への取り組みも積極的に行い、院外発表も行っています。

そのほかにも民医連
の学習会や
全道・全国の研修も
豊富!!



中堅看護職員研修

クリニカルラダーII

クリニカルラダーI-2

クリニカルラダーI-1





働きやすい職場作り

働き続けられる職場作りを目標

- ・ 研修制度あり
- ・ 病院が認めた資格取得、研修費全額負担



豊富な休暇制度

- ・ 入社時有給 12日付与
- ・ 産休育休制度
- ・ 子の看護休暇
- ・ 生理休暇
- ・ 介護休暇制度
- ・ リフレッシュ休暇 5日
- ・ お昼休憩時間 1時間
- ・ 妻の出産休暇
- ・ 1時間単位での年休取得
- ・ 結婚休暇

※育児休業制度の利用率70% 年休消化率50~60%

充実した福利厚生

退職金あり、被服手当、寒冷地手当、年2回賞与、結婚祝金、年1回昇給、通勤手当、銀婚祝金、出産祝金、入院見舞金、子の入学・卒業祝金、弔慰金、医療費補助、傷病保証 等

職員1人ひとりが大切にされ、みんなで育ちあえる職場作りをめざしています

子育てと仕事の両立をしたい
と入職希望する看護職が多い
のが特徴！！



高校生・看護学生のみなさんへ

○毎年夏に高校生、冬に看護学生を対象に看護体験を実施し、看護師を目指す学生を応援しています。北見市内の高校、地元がオホーツク近郊の看護学生さんを受け入れています。

○感染対策として学校別での看護体験やオンライン看護体験を行っています。

○日本赤十字北海道看護大学や北見医師会などの臨地実習を受け入れています。

オンライン看護体験の様子



訪問看護1日の仕事

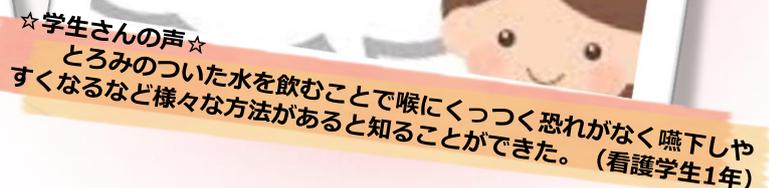


外来☆点滴動画



病棟部門 食事介助動画

食事介助



オンライン看護体験では病棟・訪問看護1日の仕事動画以外に現場で働く看護師と実際に話すことができ、たくさんの質問にお答えしています☆



奨学金制度



患者さんや地域住民の立場に立ち、親切で良い看護を目指す看護学生が対象です。勤医協の後継者の育成を目指しています。奨学金は看護学生の生活を支援できるように設けられています。

- 応募資格：看護学校・看護大学の学生であれば、どの学校、どの学年からでも受け取れます。
- 応募期間：随時
- 応募方法：オホーツク勤医協に電話、又はメールで連絡
- 選考方法：書類審査・面接
- 貸与額：月額40,000円
- 貸与期間：貸与開始～卒業する月まで
- 返済について：看護師資格取得後、奨学金貸与期間と同期間、オホーツク勤医協に看護師として勤務した場合、返済が免除されます。

連絡先：オホーツク勤医協 北見病院 総看護師長

TEL：0157-26-1300（内線154）

✉：okk@o-kinikyo.or.jp 名前・住所・連絡先・学校名記入

奨学生になったら・・・

- ・夏休み・冬休みの期間中に看護体験、実習ができます

バイタルサイン測定
シーツ交換
フィジカル学習など



- ・奨学生が集まり交流や学習など楽しい企画に参加できます



みんなで紙上事例
の検討会や
学習会・近況報告
など

- ・北海道民医連医系学生の集いに参加できます(オンライン参加)
- ・学生生活、学業の相談ができます



勉強や学校生活での悩み
なんでも相談に乗ります！
卒業生からのアドバイスも
あるかもしれません★

・奨学生からのコメント

2024年
卒業見込み

私は北見医師会看護学校に通っている1年生です。とても忙しい生活を毎日送っています。
アルバイトをする時間も作れないため、経済的負担を軽減させてくれる奨学金にはとても感謝しています。

2022年
北見医師会卒

看護学校入学時から奨学金を借りています。奨学生になると奨学生同士での交流会があり、他学年の方や優しい看護師の先輩方と交流し、実習、国家試験に向けた勉強方法などアドバイスを貰っています。
年に数回ですが面談も行い、困っていることや心配なことなど相談できるサポート体制も整っていて、看護学生にとってとても良い環境にあると思います。
最初はとても緊張しましたが、親身になって寄り添ってくれる看護師の先輩方がいるので安心しています。



北見病院までのアクセス



バス

- ①光西町線 停留所「常盤公園前」
- ②上常呂・訓子府・勝山線 「中の島公園入口」



タクシー

駅から約6分 (約700円)



自家用車

- ①南大通りから入る場合はセイコーマートと清水税理士事務所さんから曲がる
- ②常盤通りから入る場合は、北海美装さんから曲がる
※案内看板「勤医協北見病院」が近くにあります。



医療法人オホーツク勤労者医療協会

理事長：堺 慎 院長：菊地 憲孝

- 〒090-0817 北見市常盤町5丁目7-5
- TEL0157-26-1300 FAX0157-26-4766
- ホームページ <http://www.o-kinikyo.or.jp>

